

平成 18 事業年度

公立大学法人岩手県立大学の業務の実績に関する評価結果

平成 19 年 9 月

岩手県地方独立行政法人評価委員会

## 1 はじめに

本評価委員会においては、平成 18 年 5 月に策定した「公立大学法人岩手県立大学に係る各事業年度業務実績評価実施要領」に基づき、

- ① 平成 18 事業年度における中期計画の実施状況の調査
  - ② 当該事業年度における中期計画の実施状況の分析
  - ③ 業務の実績全体についての総合的な評定
- を内容とする評価を行った。(評価の具体的な方法は下記のとおり)

記

### (1) 項目別評価

法人による自己評価の結果を基に、法人からのヒアリング等を通じて、年度計画に照らして進捗状況を確認し、自己評価の妥当性の検証と評価を行った。

なお、教育研究等の質の向上に関する項目については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、取組みの外形的・客観的な進捗状況の観点からの評価を行った。

また、評価委員会が認める「AA評価(特筆すべき進行状況にある)」については、

- ① 年度計画に掲げる取組みを達成しつつ、更に中期計画に沿った取組みが付加・実現され、
- 又は
- ② 取組みの結果、何らかの成果が明らかになっているものを対象とした。

(AA評価の例)

- ・年度計画において、「制度の創設」を当該年度の取組みとしていたものについて、実績において「制度を創設」したことに加え、「制度を運用」した場合
- ・積極的な県内企業訪問の結果、県内求人数が増加した場合 など

### (2) 全体評価

「項目別評価」の集計結果を踏まえつつ、平成 17 事業年度と平成 18 事業年度の評価結果の比較を通じて、「中期計画に掲げる方策」毎の実施状況の分析を行った上で、業務の実績全体について総合的な評価を行った。

### (3) 今後の課題

自己評価において緻密な評価を大変な労力をかけて行っていることは評価できるが、評価の目的は、評価を通じて、課題を見出し、次の改善につなげていくことであるので、「評価のための評価」とならないよう、今後も本評価委員会と大学が評価システムの改善を協議・検討していく必要がある。

## 2 全体評価

年度計画及び中期計画は「概ね計画どおり進んでいる」と認められる。とりわけ「計画どおり進んでいる」取組みが多いことは高く評価できるものである。

### (1) 判断理由

- 平成 18 事業年度においては、年度計画に掲げる取組み 323 項目中、「B 評価(「概ね計画どおり進んでいる」)以上の項目が 298 項目(92.0%)認められること。また、「A 評価(計画どおり進んでいる)」以上の項目が 245 項目(75.9%)認められること
- 各区分毎の評価の集計結果において、下表のとおり各区分いずれも「概ね計画どおり」であること(「やや遅れている」又は「重大な改善事項がある」に該当する区分がないこと)

【各区分における評価結果】

区 分	特筆すべき進行状況	計画どおり	概ね計画どおり	やや遅れている	重大な改善事項あり
I 大学の教育・研究などの質の向上			○		
II 業務運営の改善及び効率化			○		
III 財務内容の改善			○		
IV 自己点検・評価・改善			○		
V 施設設備の整備、安全管理等			○		

注) 特筆すべき進行状況：評価委員会が特に認める場合  
 計画どおり：計画を達成した場合  
 概ね計画どおり：8割以上～10割未満  
 やや遅れている：6割以上～8割未満  
 重大な改善事項あり：6割未満

- 「中期計画に掲げる方策」毎に、平成 17 事業年度と平成 18 事業年度の評価結果を比較したところ、別表 1 のとおり、前年度より評価区分が改善されたもの(H17:C又はD→H18:A又はB)が多いこと。一方、別表 2 のとおり、前年度より評価区分が停滞(H17:C又はD→H18:C又はD)・低下(H17:A又はB→H18:C又はD)したものが一部あるものの、これらの多くは、取組みを進める過程で新たな課題等を認識したことによるものであり、計画策定時には想定できない、やむを得ない事情と認められる。

## (2) 1年間の取組みの成果と課題等

### ○ 大学の運営に関しては、

① 平成17事業年度の評価結果を踏まえ、平成19年度計画策定において、重点的に取り組む事項を提示したこと

② 評価や大学改革に関し、責任をもって遂行する体制の構築を図るため、新たな本部組織（「大学改革推進本部」）の設置決定を行ったこと  
など理事長及び学長のリーダーシップによる機動的・戦略的な運営や大学改革を目指した取組みを行っていることは高く評価できる。

また、「副学長代理」の職を新設したことは、特定課題に対し、迅速に判断し、きめ細やかな対応を進める仕組みを整えたものであり、注目される。

### ○ 大学の教育研究、地域貢献等に関しては、

① 各学部における学生の学会発表に向けた積極的な支援・働きかけを行っていること

また、「相撲部屋方式」（1年次からの講座配置）による教育を実施しているソフトウェア情報学部における情報処理学会全国大会での2年連続で全国最多の学生奨励賞を受賞したこと

② 宮古短大におけるセンター試験導入により、入試が多様化したこと及び沿岸地域の受験生の利便性が向上したこと

③ 多様な相談体制構築のため、学生が相談員となるピアカウンセリングを試験的に実施し、平成19年度から本格実施することとしていること

④ 盛岡短期大学部における「自他の文化理解を柱とした国際文化教育」が平成18年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されたこと

など県立大学としての特色ある取組みや創意工夫と認められるものであり、高く評価できる。

○ 業務運営の改善等に関しては、業務効率化の運動（県大版IMS）や省エネアクションプラン等の実施など一般管理費の節減に努めており、結果として、剰余金（黒字）の確保に大きく寄与していると認められるものであり、高く評価できる。

○ 自己点検・評価及び情報公開に関しては、大学の運営データ、学生や教職員、卒業生の就職企業に対するアンケート調査等による業務データの収集及び当該データを活用し、大学の12の使命毎に「大学を可視化する指標」をモデル的に構築した取組みは、今後、大学の取組みの成果（アウトカム指標）を、より分かり易く示すうえで重要であり、特筆すべき取組みと認められる。

### ○ 評価にあたっての意見や課題、懸念として、

① PDCAサイクルを確立するうえで、前事業年度における「C評価（やや遅れている）」、「D評価（重大な改善事項がある）」の取組みのフォローが必要だが、「インターンシップやボランティア活動などの単位化の検討」などフォローが十分でない取組みがあること

② 大学院の学生収容定員の充足率が前事業年度から改善していないこと及び志願者数が頭打ちの傾向がみられることから、一層の取組みが必要であること

③ 少子化、大学全入時代に鑑み、今後の入学志願者の確保が将来的な懸念材料と考えられること  
などの指摘がある。

### 3 項目別評価

<p>I 大学の教育・研究などの質の向上に関する目標を達成するためにとる措置 ⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が75.2%を占めていることは、高く評価できる。</p> <p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置 ⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が86.1%を占めていることは、高く評価できる。</p> <p>III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとる措置 ⇒「概ね計画どおり」。しかしながら、他の区分に比して、「A評価」以上の項目の割合が低く、一層の取組みが望まれる。</p> <p>IV 自己点検・評価・改善及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとる措置 ⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が81.8%を占めていること及びC評価以下の項目がないことは、高く評価できる。</p> <p>V 施設設備の整備、安全管理等の目標を達成するためにとる措置 ⇒「概ね計画どおり」。特に「A評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が88.9%を占めていること及びC評価以下の項目がないことは、高く評価できる。</p>
--

II 業務運営の改善及び効率化	中長期的な人件費（定数）管理計画を策定します。	学内の教員組織の現状等について、学部長等から聴取を行い、課題を抽出しました。	C	D	・各学部等からヒアリングを行うなど大学として定数管理計画策定に向けた初めての取組みに着手した点は評価できるが、次のステップに向けた時期、方法等が未定であることからD相当（6割未満）と判断。
-----------------	-------------------------	--	---	---	--

#### (3) 「C評価」及び「D評価」の取組みについて

「C評価（やや遅れている）」が25項目、「D評価（重大な改善事項がある）」が1項目認められ、その遅れにはやむを得ない事情があったものと認められるが、改善に向けた次年度の取組み強化や計画の見直しを検討する必要がある。

#### (1) 判断理由及び「AA評価（特筆すべき進行状況にある）」の取組み

別表3のとおり

#### (2) 自己評価より評価が低くなった項目及びその理由

区分	年度計画	計画の進行状況	自己評価	評価委員会	評価委員会評価の考え方
I 大学の教育・研究の質の向上	A0 入試制度について、入学した学生の状況などを踏まえ改善案を示します。	高校側から推薦との関係で合格発表を早めるよう要望があり、平成20年度選抜（平成19年度実施）から1週間早めることとしました。	A	B	・自己評価において、改善を図ったこと（合格発表を早めたこと）を以ってA評価としているが、計画に掲げる「入学した学生の状況」の調査等の取組みがないことから、B相当と判断

【別表1】「中期計画に掲げる方策」の評価の経年比較（評価区分が改善）

(1) 比較方法について

「中期計画に掲げる方策」毎に平成17事業年度と平成18事業年度の評価委員会評価結果について、B評価（「概ね計画どおり」）とC評価（「やや遅れている」）をひとつの境目として比較し、その推移を矢印で表示。

矢印	矢印の意味合い	左の具体的な内容	方策数
↑	評価区分が改善	・17年度にC評価以下であったものが、18年度にB評価以上になったもの	22
↗	評価区分がやや改善	・「中期計画に掲げる方策」において、複数の取組みを実施している場合で、その一部がC評価以下からB評価以上になったもの	3

(2) 比較にあたっての留意点

この比較は、「中期計画に掲げる方策」の項目毎に年度の取組みの評価が経年でどう変化したかを見るものであり、中期計画の進捗状況に係る評価を表すものではない。

【比較結果】

区分	中期計画に掲げる方策	比較	備考
I 大学の教育・研究の質の向上	○多様な視点と人間関係を育成するため、入門演習を学部混成のクラス編成で実施します。(No.5, 6)	↗	
	○英語教育を少人数習熟度別クラス編成で実施します。(No.10)	↑	
	○1年次から4年次までの履修モデルを設定します。(No.13)	↑	
	○看護実践能力を育成するため、大学卒業時の到達目標を見据えたカリキュラムを構築します。(No.20)	↑	
	○卒業生に対する意識調査を行うとともに就職先の企業、自治体、機関等から意見を聞き、教育の成果・効果を明らかにします。(No.58, 59)	↑	
	○アドミッション・ポリシーの3つの柱、すなわち「幅広い知識」、「多面的な課題への問題解決能力」、「豊かな人間性」に関し、入学後の個々の学生の修学ニーズを踏まえ、継続的な評価を行います。(No.71, 72)	↗	
	○大学院については、高度な専門性の修得に対する強い意欲と研究的視点を持った人材の確保を目指し、社会人選抜等にも配慮しながら、多様な入試制度を実施します。(No.79)	↑	
	○教養教育は、広い視野と人間性を培うための基礎として、入門演習、情報処理、外国語、問題論的アプローチ科目等によって編成します。(No.89, 90)	↑	
○科目の特性に応じた習熟度別クラス編成を推進します。(No.96, 97)	↑		

	○講座制等を利用した、入学時からの研究室配属するなどによる学年間交流を推進します。(No.98)	↑	
	○演習・実学重視と個別指導による教育を充実するため、1年次から演習・実習形式の授業をより多く設定するほか、少人数によるクラス分けや担任制により教員の指導責任を明確にします。(No.130)	↑	
	○地域における国際交流活動を支援し、その活動を実践的教育研究の場として生かします。(No.146)	↑	
	○成績優秀者に対する表彰と成績不良者に対する個別指導の充実を期します。(No.151)	↑	
	○TOEFL、TOEIC等の外国語能力検定試験において、一定以上の得点を得た学生に対して単位を認定する制度を一層充実させます。(No.152, 153)	↑	
	○民間企業、行政機関及び各種団体などから積極的に講師の派遣を求め、教育・研究指導の一層の充実を図ります。(No.156)	↑	
	○TA(Teaching Assistant)制度を拡充します。(No.160)	↑	
	○学部と大学院のカリキュラムの関連性をより一層高め、学部教育と研究指導の連携を強化します。(No.165)	↑	
	○地域における諸課題の解決のために設定された地域や産公との連携研究プロジェクトへの院生・学生参加や院生・学生による自主的なプロジェクト演習などを積極的に行います。(No.166)	↑	
	○少人数担任制、1年次からの講座配属（入学時からの研究室配属）等による指導体制を充実します。(No.172)	↑	
	○就学継続が困難な状態にある学生に関しては、その個別的事態に対応した適切な指導を行います。(No.187, 188)	↗	
	○特許取得研修の増加を目指すとともに、技術移転を支援する組織との連携により研究成果を事業化するなど、知的財産の活用を図ります。(No.232)	↑	
	○本学の実践的教育研究活動としての国際交流を、地域における国際交流活動に生かします。(No.259)	↑	
II 業務運営の改善及び効率化	○経営会議に、学外の有識者、保護者等に委員として参加を求めるほか、大学に県民の意見を聞くための窓口を設置するなど、大学運営に外部の意見を反映させます。(No.279~281)	↑	
III 財務内容の改善	○競争的資金獲得のため申請方法研修会や学内審査会の開催、助成制度の紹介など支援体制を整備します。(No.303, 304)	↑	
	○地域社会の要求に対応した専門分野の有料の講習・研修制度を実施します。(No.305)	↑	

【別表2】「中期計画に掲げる方策」の評価の経年比較（評価区分が停滞・低下）

(1) 比較方法について

【別表1】と同じ

矢印	矢印の意味合い	左の具体的な内容	方策数
↘	評価区分が停滞	・17年度にC評価以下であったものが、18年度もC評価以下であるもの	10
↓	評価区分が低下	・17年度にB評価以上であったものが、18年度にC評価以下になったもの	9

(2) 比較にあたっての留意点

【別表1】と同じ

【比較結果】

区分	中期計画に掲げる方策	比較	備考
I 大学の教育・研究の質の向上	○入学時に学生の修学目標等を調査し、その達成度、満足度について継続的に確認するなどの修学指導方法を充実します。(No.57)	↘	検討のための基礎調査(履修資料の収集)に時間を要しているため
	○入試から教育、卒業指導までの一貫教育を研究開発する組織の設置を検討します。(No.68)	↘	検討のための基礎調査(他大学の例など)に時間を要しているため
	○(社会福祉学部)上記4教育群制の展開のもとに、現行の2学科制の再編について検討します。(No.103)	↓	全学的な「学部再編」との関係において課題の整理等が必要なため
	○他学部等専門教育の履修を積極的に奨励し、多様な専門的学習ニーズに応えます。(No.131)	↘	各学部の教育課程の構造上、他学部の履修の大幅な増加は当面困難なため
	○インターンシップやボランティア活動などの実践活動の単位化について検討します。(No.133)	↘	検討のための基礎調査(他大学の例など)に時間を要しているため
	○学外資源(放送大学等)の有効利用を推進します。(No.155)	↘	教養教育の安定的な実施体制の確立を優先したため
	○多様な専門的学習ニーズに応えるために他学部等専門教育の履修を積極的に奨励します。(No.162)	↘	全学的な調査(シラバスの照合)に時間を要したため
	○他大学との連携、放送大学の利用について積極的に検討します。(No.164)	↘	教養教育の安定的な実施体制の確立を優先したため
	○1年次から学年進行に応じて個別教育指導ができる体制を一層充実させます。(No.171)	↘	取組み主体、手法が不明確だったため

	○学生が学習を含む諸問題を教員と日常的に話し合える場を様々なかたちでつくります。(No.174, 175)	↓	オフィスアワーの周知徹底が必要なことが判明したため
	○学生相談室における、学生生活支援の専門カウンセラー等の導入について積極的に検討します。(No.181)	↘	検討にあたっての基礎調査(他大学の状況)が必要なため
	○RA(Research Assistant)制度の導入(No.230)	↓	導入には、就業規則の改正が必要だが、就業規則の改正が遅れているため
	○知的財産をデータベース化し、学外への積極的なPRを図ります。(No.231)	↘	知的財産権に関するポテンシャルが小さく(特許等2件)、他の類似の公立大学等の現状調査が必要なため
	○評価結果は研究費の重点配分に反映させます。(No.248)	↓	評価は実施したものの、基盤研究費の個別配分に反映する検討には至らなかったため
	○研究倫理の向上のため組織を設置することにより、その向上を図ります。(No.249, 250)	↓	国のガイドライン等の遅れによる
	○岩手大学地域連携推進センターとの連携による知的財産の管理について検討します。(No.267)	↓	知的財産に関するポテンシャルが小さいため、まずは特許取得等の取組みを進める必要性が認められたため。
II 業務運営の改善及び効率化	○教職員の採用・昇任は、業務の実績に対する客観的な基準による評価に基づき、透明性・公正性が確保された選考方法で実施します。(No.288, 289)	↓	専任教員の採用基準の策定等について、18年度と19年度の比較検討が必要なため
	○中長期的な観点に立って定数管理等の計画を策定し、専門性の高い人材の確保・養成や人員(人件費)の適切な管理、効果的かつ効率的な人的資源配分等を推進します。(No.294)	↓	学内の課題抽出に時間を要したため
III 財務内容の改善	○適正な職員数を確保するとともに、アウトソーシングの積極的な導入により人件費の抑制を図ります。(No.306)	↓	学内の課題抽出に時間を要したため

【別表3】項目別評価の状況

区分	評価結果			AA評価項目	摘要 (主な運営データ等)																																																																																																									
	区分	自己	委員会			割合%																																																																																																								
I 大学の教育・研究などの質の向上に関する目標を達成するためにとる措置	AA	-	13	5.0	<p>262項目中、AA～Bの項目の割合は、9割以上(91.2)を占めることから、「概ね計画どおり」と判断</p> <p>【参考】17事業年度</p> <table border="1"> <tr><td>AA</td><td>-</td><td>24</td><td>9.9</td></tr> <tr><td>A</td><td>160</td><td>136</td><td>56.0</td></tr> <tr><td>B</td><td>36</td><td>36</td><td>14.8</td></tr> <tr><td>C</td><td>35</td><td>35</td><td>14.4</td></tr> <tr><td>D</td><td>12</td><td>12</td><td>4.9</td></tr> <tr><td>計</td><td>243</td><td>243</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>※1 凡例 AA：特筆すべき進行状況にある A：計画どおり進んでいる B：おおむね計画どおり進んでいる C：やや遅れている D：重大な改善事項がある</p> <p>※2 評価委員会評価においては、「計画なし」だが、取り組みを行い、自己評価した項目の評価は行わない。</p>	AA	-	24	9.9	A	160	136	56.0	B	36	36	14.8	C	35	35	14.4	D	12	12	4.9	計	243	243	100.0																																																																																	
	AA	-	24	9.9																																																																																																										
	A	160	136	56.0																																																																																																										
	B	36	36	14.8																																																																																																										
	C	35	35	14.4																																																																																																										
D	12	12	4.9																																																																																																											
計	243	243	100.0																																																																																																											
A	204	184	70.2																																																																																																											
B	43	42	16.0																																																																																																											
C	23	23	8.8																																																																																																											
D	0	0	0.0																																																																																																											
計	270	262	100.0																																																																																																											
				<p>◎ 全学的な取り組み</p> <p>① 短大入試の多様化 【No.60】 短期大学部において、新たに大学入試センター試験を導入しました。特に、新たにセンター試験会場となった宮古短期大学部は、地域の高校生の利便性確保につながりました。</p> <p>② 全学的な教育改善への取り組み 【No.92】 「教育改善FD (Faculty Development) 推進会議」を設置し、教育改善上の課題に即したテーマの研修会を実施し、平成17年度の試行的な実施を踏まえて、全学での相互授業聴講を実施しました。</p> <p>③ ピアカウンセリング 【No.173】 多様な相談体制の構築を図るため、学生が相談員となるピアカウンセリングを試験的に実施し、平成19年度から本格実施することになりました。</p> <p>④ 留学生支援の充実 【No.191】 平成18年度から本格実施した日本語補講については、中級クラスに加え初級クラスを開設し、合計11名の留学生が受講しました。また、「にほんごチェックサポート」制度を創設し、留学生支援の一層の充実を図りました。</p> <p>⑤ 「公募型地域課題研究」の創設 【No.194】 直接、地域から研究課題を募集する「公募型地域課題研究」を新たにメニュー研究に追加し、県内の自治体やNPO、企業等から57件の応募を受け、各学部の選考評価を踏まえ16件を採択し、平成18年度は3件着手し、平成19年度は13件について取り組むこととしています。</p> <p>◎各学部等における特色ある取り組み</p> <p>【看護学部、研究科】</p> <p>⑥ 学生に対する多様な研究発表の機会を設定 【No.21】 卒業研究の発表会を重複しないよう講座ごとに実施し、学生が多様な研究内容を学習できるように工夫しました。さらに、外部学会でも成果を発表しました。また、卒業生が就職先で行う院内研究については、積極的に支援し、研究推進能力がさらに発展するように支援するなど、多様な発表機会を設定することで、学生が主体的にテーマを見つけて行動できるよう支援しました。</p> <p>⑦ 成人(慢性)看護専門看護師教育課程の認定 【No.46】 専門看護師教育課程成人(慢性)を申請し認定を受けました。</p> <p>【社会福祉学部、研究科】</p> <p>⑧ 教員免許課程の認可 【No.45】 各関係部局、機関と調整・協議を終え、文部科学省への「公民・幼稚園教諭」養成課程の申請を行い、認可されました。</p> <p>【ソフトウェア情報学部、研究科】</p> <p>⑨ 学生による学会発表の促進 【No.24】 学部生の学会発表数を促進し、卒業生1人あたりの発表件数が約0.63件となり、目標を1割以上上回る成果を挙げました。</p> <p>【総合政策学部、研究科】</p> <p>⑩ 新たな資格取得教育の実施 【No.27】 「社会調査士」については、新入生及び在学生に対して、資格取得に関するガイダンスを行い周知を図りました。また、本資格は年度ごとに資格認定機関(社会調査士資格認定機構)から科目認定を受ける必要があるため、科目認定申請を行い、認定を受けました。「ピオトープ管理士」については在学生5名が受験し2級管理士に4名が合格しました。</p>																																																																																																										
				<p>○入試の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">県立大学</td> <td rowspan="3">学部</td> <td>入学者数</td> <td>467</td> <td>448</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>1,806</td> <td>2,104</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>4.1</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大学院</td> <td>入学者数</td> <td>87</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>126</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>1.2</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">盛岡短大</td> <td>入学者数</td> <td>119</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>336</td> <td>342</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>3.4</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>258</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">宮古短大</td> <td>入学者数</td> <td>123</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>168</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>158</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実質倍率</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実質倍率</td> <td>1.9</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実質倍率</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H18.5.1 運営データ、人・%)</p> <p>○「県立大学が第一希望」の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>新入生</th> <th>在学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">県大</td> <td>第一希望</td> <td>79.9</td> <td>75.9</td> </tr> <tr> <td>第二希望</td> <td>11.7</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>第三希望以下</td> <td>8.1</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛短</td> <td>第一希望</td> <td>53.1</td> <td>58.8</td> </tr> <tr> <td>第二希望</td> <td>25.7</td> <td>19.6</td> </tr> <tr> <td>第三希望以下</td> <td>20.4</td> <td>21.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宮短</td> <td>第一希望</td> <td>60.2</td> <td>59.6</td> </tr> <tr> <td>第二希望</td> <td>17.8</td> <td>20.2</td> </tr> <tr> <td>第三希望以下</td> <td>18.6</td> <td>20.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(新入生・在学生アンケート、%)</p>	区分		H17	H18	県立大学	学部	入学者数	467	448	志願者数	1,806	2,104	志願倍率	4.1	4.8	大学院	入学者数	87	53	志願者数	126	77	志願倍率	1.2	0.7	盛岡短大	入学者数	119	107	志願者数	336	342	志願倍率	3.4	3.4	受験者数	258	266	宮古短大	入学者数	123	108	志願者数	168	174	志願倍率	1.7	1.7	受験者数	158	169					実質倍率	1.3	1.4					実質倍率	1.9	1.9					実質倍率	1.1	1.3	区分		新入生	在学生	県大	第一希望	79.9	75.9	第二希望	11.7	12.2	第三希望以下	8.1	11.0	盛短	第一希望	53.1	58.8	第二希望	25.7	19.6	第三希望以下	20.4	21.6	宮短	第一希望	60.2	59.6	第二希望	17.8	20.2	第三希望以下	18.6	20.2
区分		H17	H18																																																																																																											
県立大学	学部	入学者数	467	448																																																																																																										
		志願者数	1,806	2,104																																																																																																										
		志願倍率	4.1	4.8																																																																																																										
	大学院	入学者数	87	53																																																																																																										
		志願者数	126	77																																																																																																										
		志願倍率	1.2	0.7																																																																																																										
盛岡短大	入学者数	119	107																																																																																																											
	志願者数	336	342																																																																																																											
	志願倍率	3.4	3.4																																																																																																											
	受験者数	258	266																																																																																																											
宮古短大	入学者数	123	108																																																																																																											
	志願者数	168	174																																																																																																											
	志願倍率	1.7	1.7																																																																																																											
	受験者数	158	169																																																																																																											
				実質倍率	1.3	1.4																																																																																																								
				実質倍率	1.9	1.9																																																																																																								
				実質倍率	1.1	1.3																																																																																																								
区分		新入生	在学生																																																																																																											
県大	第一希望	79.9	75.9																																																																																																											
	第二希望	11.7	12.2																																																																																																											
	第三希望以下	8.1	11.0																																																																																																											
盛短	第一希望	53.1	58.8																																																																																																											
	第二希望	25.7	19.6																																																																																																											
	第三希望以下	20.4	21.6																																																																																																											
宮短	第一希望	60.2	59.6																																																																																																											
	第二希望	17.8	20.2																																																																																																											
	第三希望以下	18.6	20.2																																																																																																											

区分	評価結果			AA評価項目	摘 要 (主な運営データ等)																																																																																																																																	
	区分	自己	委員会			割合%																																																																																																																																
				<p><b>【共通教育センター】</b></p> <p>① 少人数習熟度別クラス編成による英語教育 【No.10】 少人数習熟度別クラス編成により、同程度の英語力を持った学生のクラス編成が可能となった結果、学生のモチベーションを高めることが比較的容易となり、単位未修得者が減少しました。</p> <p><b>【盛岡短期大学部】</b></p> <p>② 特色ある大学教育支援プログラム採択 【No.42】 国際文化学科が主体となり、「自他の文化理解を柱とした国際文化教育」というテーマで平成18年度文部科学省・特色ある大学教育支援プログラムに申請し、採択されました。</p> <p><b>【宮古短期大学部】</b></p> <p>③ 学生確保のための90校訪問 【No.87】 岩手県、青森県、秋田県及び宮城県等の90校を訪問して、本学部の教育内容等を説明し、向学心のある学生の確保に努めました。</p>	<p>○学生定員充足状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">県立大学</td> <td>学部</td> <td>定員</td> <td>1,840</td> <td>1,840</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在籍数</td> <td>2,003</td> <td>1,997</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率</td> <td>108.9</td> <td>108.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛岡短期大学部</td> <td>大学院</td> <td>定員</td> <td>216</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在籍数</td> <td>191</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率</td> <td>88.4</td> <td>85.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛岡短期大学部</td> <td>定員</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>在籍数</td> <td>224</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>充足率</td> <td>112.0</td> <td>115.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宮古短期大学部</td> <td>定員</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>在籍数</td> <td>211</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>充足率</td> <td>105.5</td> <td>115.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H18.5.1 運営データ、人・%)</p> <p>○大学での勉学に関する意識</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学習目標の達成度</th> <th>勉学の満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">県大</td> <td>肯定的</td> <td>80.2</td> <td>58.7</td> </tr> <tr> <td>否定的</td> <td>12.3</td> <td>20.6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7.5</td> <td>20.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛短</td> <td>肯定的</td> <td>91.8</td> <td>54.6</td> </tr> <tr> <td>否定的</td> <td>3.1</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5.1</td> <td>27.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宮短</td> <td>肯定的</td> <td>79.8</td> <td>73.7</td> </tr> <tr> <td>否定的</td> <td>10.1</td> <td>9.1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>10.1</td> <td>17.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(在学生アンケート、%)</p> <p>○学生生活（授業以外）に関する意識</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学生生活の充実度</th> <th>支援等の満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">県大</td> <td>肯定的</td> <td>87.4</td> <td>68.7</td> </tr> <tr> <td>否定的</td> <td>12.4</td> <td>16.5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.1</td> <td>14.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">盛短</td> <td>肯定的</td> <td>91.8</td> <td>78.4</td> </tr> <tr> <td>否定的</td> <td>8.2</td> <td>12.4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.0</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">宮短</td> <td>肯定的</td> <td>93.9</td> <td>88.9</td> </tr> <tr> <td>否定的</td> <td>6.1</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.0</td> <td>4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(在学生アンケート、%)</p>	区分		H17	H18	県立大学	学部	定員	1,840	1,840		在籍数	2,003	1,997		充足率	108.9	108.5	盛岡短期大学部	大学院	定員	216	239		在籍数	191	205		充足率	88.4	85.8	盛岡短期大学部	定員	200	200	在籍数	224	230	充足率	112.0	115.0	宮古短期大学部	定員	200	200	在籍数	211	231	充足率	105.5	115.5	区分	学習目標の達成度	勉学の満足度	県大	肯定的	80.2	58.7	否定的	12.3	20.6	その他	7.5	20.6	盛短	肯定的	91.8	54.6	否定的	3.1	17.5	その他	5.1	27.8	宮短	肯定的	79.8	73.7	否定的	10.1	9.1	その他	10.1	17.2	区分	学生生活の充実度	支援等の満足度	県大	肯定的	87.4	68.7	否定的	12.4	16.5	その他	0.1	14.8	盛短	肯定的	91.8	78.4	否定的	8.2	12.4	その他	0.0	9.3	宮短	肯定的	93.9	88.9	否定的	6.1	7.1	その他	0.0	4.0													
区分		H17	H18																																																																																																																																			
県立大学	学部	定員	1,840	1,840																																																																																																																																		
		在籍数	2,003	1,997																																																																																																																																		
		充足率	108.9	108.5																																																																																																																																		
盛岡短期大学部	大学院	定員	216	239																																																																																																																																		
		在籍数	191	205																																																																																																																																		
		充足率	88.4	85.8																																																																																																																																		
盛岡短期大学部	定員	200	200																																																																																																																																			
	在籍数	224	230																																																																																																																																			
	充足率	112.0	115.0																																																																																																																																			
宮古短期大学部	定員	200	200																																																																																																																																			
	在籍数	211	231																																																																																																																																			
	充足率	105.5	115.5																																																																																																																																			
区分	学習目標の達成度	勉学の満足度																																																																																																																																				
県大	肯定的	80.2	58.7																																																																																																																																			
	否定的	12.3	20.6																																																																																																																																			
	その他	7.5	20.6																																																																																																																																			
盛短	肯定的	91.8	54.6																																																																																																																																			
	否定的	3.1	17.5																																																																																																																																			
	その他	5.1	27.8																																																																																																																																			
宮短	肯定的	79.8	73.7																																																																																																																																			
	否定的	10.1	9.1																																																																																																																																			
	その他	10.1	17.2																																																																																																																																			
区分	学生生活の充実度	支援等の満足度																																																																																																																																				
県大	肯定的	87.4	68.7																																																																																																																																			
	否定的	12.4	16.5																																																																																																																																			
	その他	0.1	14.8																																																																																																																																			
盛短	肯定的	91.8	78.4																																																																																																																																			
	否定的	8.2	12.4																																																																																																																																			
	その他	0.0	9.3																																																																																																																																			
宮短	肯定的	93.9	88.9																																																																																																																																			
	否定的	6.1	7.1																																																																																																																																			
	その他	0.0	4.0																																																																																																																																			
				<p>○産学官連携の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究数</td> <td>13</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>受託研究数</td> <td>18</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、件)</p> <p>○地域貢献の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">公開講座</td> <td>開講講座数</td> <td>45</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>2,015</td> <td>2,549</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">施設の学外利用者</td> <td>図書館</td> <td>12,991</td> <td>10,181</td> </tr> <tr> <td>体育施設等</td> <td>20,794</td> <td>20,327</td> </tr> <tr> <td>アイーナキャンパス</td> <td>-</td> <td>7,040</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">審議会委員等への就任、講師派遣数</td> <td>うち</td> <td>1,159</td> <td>1,193</td> </tr> <tr> <td>県関係</td> <td>312</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>非常勤講師</td> <td>199</td> <td>217</td> </tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、講座・人)</p> <p>○就職企業における卒業生の評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>肯定的</th> <th>否定的</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ニーズや期待への対応度</td> <td>84.7</td> <td>5.0</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td>能力水準</td> <td>78.4</td> <td>3.9</td> <td>17.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(企業アンケート、%)</p> <p>○就職企業における大学の活動の評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>肯定的</th> <th>否定的</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育活動</td> <td>71.4</td> <td>2.5</td> <td>26.0</td> </tr> <tr> <td>就職支援活動</td> <td>56.8</td> <td>13.6</td> <td>29.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(企業アンケート「熱心と感じるか」、%)</p> <p>○就職の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">県立大学</td> <td>県内就職者数</td> <td>129</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>35.0</td> <td>34.6</td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>240</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>65.0</td> <td>65.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">盛岡短大部</td> <td>計(就職者数)</td> <td>369</td> <td>393</td> </tr> <tr> <td>就職率</td> <td>97.1</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>県内就職者数</td> <td>59</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>75.6</td> <td>82.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">盛岡短大部</td> <td>県外就職者数</td> <td>19</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>24.4</td> <td>17.4</td> </tr> <tr> <td>計(就職者数)</td> <td>78</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>就職率</td> <td>89.7</td> <td>95.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">宮古短大部</td> <td>県内就職者数</td> <td>41</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>56.9</td> <td>65.3</td> </tr> <tr> <td>県外就職者数</td> <td>31</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>43.1</td> <td>34.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宮古短大部</td> <td>計(就職者数)</td> <td>72</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>就職率</td> <td>90.0</td> <td>87.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H18.5.1 運営データ、人・%)</p>	区分	H17	H18	共同研究数	13	26	受託研究数	18	17	合計	31	43	区分		H17	H18	公開講座	開講講座数	45	72	受講者数	2,015	2,549	施設の学外利用者	図書館	12,991	10,181	体育施設等	20,794	20,327	アイーナキャンパス	-	7,040	審議会委員等への就任、講師派遣数	うち	1,159	1,193	県関係	312	410	非常勤講師	199	217	区分	肯定的	否定的	その他	ニーズや期待への対応度	84.7	5.0	10.3	能力水準	78.4	3.9	17.7	区分	肯定的	否定的	その他	教育活動	71.4	2.5	26.0	就職支援活動	56.8	13.6	29.7	区分		H17	H18	県立大学	県内就職者数	129	136	割合	35.0	34.6	県外就職者数	240	257	割合	65.0	65.4	盛岡短大部	計(就職者数)	369	393	就職率	97.1	97.5	県内就職者数	59	57	割合	75.6	82.6	盛岡短大部	県外就職者数	19	12	割合	24.4	17.4	計(就職者数)	78	69	就職率	89.7	95.8	宮古短大部	県内就職者数	41	49	割合	56.9	65.3	県外就職者数	31	26	割合	43.1	34.7	宮古短大部	計(就職者数)	72	75	就職率	90.0	87.2
区分	H17	H18																																																																																																																																				
共同研究数	13	26																																																																																																																																				
受託研究数	18	17																																																																																																																																				
合計	31	43																																																																																																																																				
区分		H17	H18																																																																																																																																			
公開講座	開講講座数	45	72																																																																																																																																			
	受講者数	2,015	2,549																																																																																																																																			
施設の学外利用者	図書館	12,991	10,181																																																																																																																																			
	体育施設等	20,794	20,327																																																																																																																																			
	アイーナキャンパス	-	7,040																																																																																																																																			
審議会委員等への就任、講師派遣数	うち	1,159	1,193																																																																																																																																			
	県関係	312	410																																																																																																																																			
	非常勤講師	199	217																																																																																																																																			
区分	肯定的	否定的	その他																																																																																																																																			
ニーズや期待への対応度	84.7	5.0	10.3																																																																																																																																			
能力水準	78.4	3.9	17.7																																																																																																																																			
区分	肯定的	否定的	その他																																																																																																																																			
教育活動	71.4	2.5	26.0																																																																																																																																			
就職支援活動	56.8	13.6	29.7																																																																																																																																			
区分		H17	H18																																																																																																																																			
県立大学	県内就職者数	129	136																																																																																																																																			
	割合	35.0	34.6																																																																																																																																			
	県外就職者数	240	257																																																																																																																																			
	割合	65.0	65.4																																																																																																																																			
盛岡短大部	計(就職者数)	369	393																																																																																																																																			
	就職率	97.1	97.5																																																																																																																																			
	県内就職者数	59	57																																																																																																																																			
	割合	75.6	82.6																																																																																																																																			
盛岡短大部	県外就職者数	19	12																																																																																																																																			
	割合	24.4	17.4																																																																																																																																			
	計(就職者数)	78	69																																																																																																																																			
	就職率	89.7	95.8																																																																																																																																			
宮古短大部	県内就職者数	41	49																																																																																																																																			
	割合	56.9	65.3																																																																																																																																			
	県外就職者数	31	26																																																																																																																																			
	割合	43.1	34.7																																																																																																																																			
宮古短大部	計(就職者数)	72	75																																																																																																																																			
	就職率	90.0	87.2																																																																																																																																			



区分	評価結果				A A評価項目	摘要 (主な運営データ等)																		
	区分	自己	委員会	割合%																				
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置	AA	-	2	6.9	<p>① 年度計画の重点化や今後のビジョンの検討 【No.271】 本部長会議、役員会議において、平成19年度計画の重点事項や今後のビジョンについて協議検討し、学部長等連絡会議を通じて全学に周知するとともに、重点事項やビジョンに関する学内論議の活性化に努めました。</p> <p>② 大学改革推進本部及び副学長代理の設置 【No.272】 認証評価や計画の進捗状況に関する評価等に対応するとともに、評価を核として大学改革を推進するため、新たな本部組織として「大学改革推進本部」を平成19年度から設置することとし、評価等について責任をもって遂行する体制を整えました。 また、開学10周年など特定の課題等に機動的に取り組むため、平成19年度から新たに「副学長代理」の職を置くこととし、特定の課題等を効果的に実施する体制を整えました。</p>																			
	A	26	23	79.2																				
	B	2	2	6.9																				
	C	2	1	3.5																				
	D	0	1	3.5																				
	計	30	29	100.0																				
	<p>30項目中、AA～Bの項目の割合は、9割以上(93.0)を占めることから、「概ね計画どおり」と判断</p>																							
	【参考】17事業年度																							
	AA	-	5	19.2																				
	A	18	13	50.0																				
B	7	7	26.9																					
C	1	1	3.9																					
D	0	0	0.0																					
計	26	26	100.0																					
III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとる措置	AA	-	3	25.0	<p>① 科研費応募書類実践講座の実施 【No.304】 科研費の獲得促進に向けて、応募書類作成の実践講座（講習会、演習）を実施し、その結果として、近年減少傾向にあった応募件数が増加に転じました。</p> <p>② 業務改善による業務効率化の運動（県大版IMS） 【No.307】 事務局全体で業務プロセス改善に取り組み、概ね毎月1回の事例発表会を行うなどして、18,404時間の業務時間の削減を図りました。なお、年度後半には、研修ビデオにより行政品質向上・CS・ESについて理解を深める取り組みを行いました。</p> <p>③ 省エネアクションプラン（夏季）、省エネ実証調査（冬季） 【No.308】 省エネアクションプラン（夏季）、省エネ実証調査（冬季）を実施し、エネルギー使用量で前年度比7.34%削減を達成しました。</p>	<p>○外部研究資金の獲得状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H17</th> <th>H18</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外部研究資金受入</td> <td>件数</td> <td>78</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>185,015</td> <td>145,427</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち 科研費</td> <td>件数</td> <td>44</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>54,200</td> <td>35,900</td> </tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、件・千円)</p>	区分		H17	H18	外部研究資金受入	件数	78	90	金額	185,015	145,427	うち 科研費	件数	44	37	金額	54,200	35,900
	区分		H17	H18																				
	外部研究資金受入	件数	78	90																				
		金額	185,015	145,427																				
	うち 科研費	件数	44	37																				
		金額	54,200	35,900																				
	A	6	3	25.0																				
	B	5	5	41.7																				
	C	1	1	8.3																				
	D	0	0	0																				
計	12	12	100.0																					
<p>12項目中、AA～Bの項目の割合は、9割以上(92.7)を占めることから、「概ね計画どおり」と判断</p>																								
【参考】17事業年度																								
AA	-	2	20.0																					
A	5	3	30.0																					
B	3	3	30.0																					
C	1	1	10.0																					
D	1	1	10.0																					
計	10	10	100.0																					

区 分	評価結果				A A評価項目	摘 要 (主な運営データ等)
	区分	自己	委員会	割合%		
IV 自己点検・評価・改善及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとる措置	AA	-	1	9.1	① 自己点検・評価の支援と認証評価への取組み 【No.314】 大学評価委員会において、平成20年度の認証評価受審に向けた全学的取組みスケジュールを作成し、学部長等連絡会議や認証評価連絡担当者会議を通じて、学内共有を図るとともに、各部署における自己点検・評価の取組みの促進を図りました。 ② 大学経営評価指標モデルの構築 【No.314】 各部署における自己点検・評価を支援するため、学生アンケート、教職員アンケート、企業アンケートを実施するとともに、業務データを収集して「大学経営評価指標」を構築し、学部長等連絡会議や認証評価セミナーを通じて学内への周知と活用を促しました。	
	A	9	8	72.7		
	B	2	2	18.2		
	C	0	0	0		
	D	0	0	0		
	計	11	11	100.0		
	11項目中、AA～Bの項目の割合は、9割以上(100.0)を占めることから、「概ね計画どおり」と判断					
	【参考】17事業年度					
	AA	-	1	11.1		
	A	7	6	66.7		
B	2	2	22.2			
C	0	0	0.0			
D	0	0	0.0			
計	9	9	100.0			
V 施設設備の整備、安全管理等の目標を達成するためにとる措置	AA	-	0	0.0		
	A	8	8	88.9		
	B	1	1	11.1		
	C	0	0	0		
	D	0	0	0		
	計	9	9	100.0		
	9項目中、A～Bの項目の割合は、9割以上(100.0)を占めることから、「概ね計画どおり」と判断					
	【参考】17事業年度					
	AA	-	0	0.0		
	A	9	9	90.0		
B	0	0	0.0			
C	1	1	10.0			
D	0	0	0.0			
計	10	10	100.0			

区 分	評価結果				A A評価項目	摘 要 (主な運営データ等)
	区分	自己	委員会	割合%		
合 計	AA	-	19	5.9		
	A	253	226	70.0		
	B	53	52	16.1		
	C	26	25	7.7		
	D	0	1	0.3		
	計	332	323	100.0		
	【参考】17事業年度					
	AA	-	32	10.7		
	A	199	167	56.0		
	B	48	48	16.1		
	C	38	38	12.8		
	D	13	13	4.4		
	計	298	298	100.0		